



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社一家ダイニングプロジェクト 上場取引所 東
 コード番号 9266 URL <https://ikkadining.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武長 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 広宜 (TEL) 047-302-5115
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,211	15.8	256	11.4	216	△5.8	121	3.8
2019年3月期第3四半期	5,363	14.6	230	13.7	229	19.2	116	△8.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第3四半期	19.67		18.94					
2019年3月期第3四半期	18.99		18.15					

(注) 当社は、2018年6月15日付で普通株式1株につき20株の割合及び2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,979	1,312	33.0
2019年3月期	3,363	1,216	36.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,312百万円 2019年3月期 1,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,260	16.7	328	13.4	286	0.0	179	46.6	29.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2020年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	6,196,000株	2019年3月期	6,196,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	47,800株	2019年3月期	—株
------------	---------	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	6,174,408株	2019年3月期3Q	6,160,064株
------------	------------	------------	------------

(注) 当社は、2018年6月15日付で普通株式1株につき20株の割合及び2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善、個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調にあるものの、米中の貿易摩擦の長期化などによる世界経済の不確実性などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、業界全体として緩やかな回復基調にあるものの、人材不足の深刻化による人件費・採用費の上昇、原材料の高騰や企業間競争の激化など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は『あらゆる人の幸せに関わる日本一のおもてなし集団』というグループミッションのもと、より多くのお客様におもてなしによって感動を提供する為に、事業の拡大、優秀な人材の確保及びサービス力向上に注力して参りました。

飲食事業においては、都内を中心に主力業態の新規出店、サービス力向上及び店舗オペレーションの改善、自社アプリ会員の獲得によるリピーター客数の増加に継続して注力してまいりました。新規出店に関しては、ドミナントエリア拡大に向けた西東京地区への出店（屋台屋博多劇場調布店）や神奈川県への出店（屋台屋博多劇場藤沢店）の他、引き続き山手線エリアへの出店（屋台屋博多劇場新橋3号店、屋台屋博多劇場御徒町店）、千葉県エリアへの出店（屋台屋博多劇場おたかの森店、こだわりもん一家木更津店、屋台屋博多劇場柏2号店）を行い、新業態となる大衆ジギスカン酒場ラムちゃん（柏店、御徒町店、千葉店）、爆辛スパゲティ専門店青とうがらし（代々木店、町田店、新宿西口店）を新規出店いたしました。これにより直営店13店舗を出店し、直営店は合計で69店舗となりました。その他、既存店の「こだわりもん一家渋谷店」を屋台屋博多劇場へ業態変更いたしました。なお、「屋台屋博多劇場六本木店」を周辺地域の再開発によるテナントの立ち退きにより、2019年12月30日をもって退店いたしました。

また、継続的な会員獲得、自社アプリでの販促企画により、リピーター客数は好調に推移しました。

既存店（屋台屋博多劇場業態・こだわりもん一家業態）におきましては、屋台屋博多劇場での戦略的な値下げ、こだわりもん一家での宴会売上比率減少などにより客単価は前年比97.8%となった一方、屋台屋博多劇場のリピーター客数の増加などにより客数が前年比101.3%と増加し、売上高は前年比99.1%で推移しました。

新規業態については、「大衆ジギスカン酒場ラムちゃん」は好調に推移した一方、「爆辛スパゲティ専門店青とうがらし」が想定より下回って推移しております。

なお、台風19号の影響により、10月12日に飲食店舗全店で休業いたしました。

ブライダル事業におきましては、結婚式のニーズの多様化により少人数婚のニーズが高まり、婚礼1組当たりの組人数が減少傾向にある中、婚礼の主力広告媒体との連携強化による来館数・成約率の向上、サービス力向上及びコスト削減、宴席の新規案件の取り込み及びリピーター客数の増加、レストランのサービス力、商品力の向上及び新規客数の増加にも継続して注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は6,211,264千円（前年同期比15.8%増）、営業利益は256,655千円（前年同期比11.4%増）、経常利益は216,430千円（前年同期比5.8%減）、四半期純利益は121,480千円（前年同期比3.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 飲食事業

売上高は4,413,115千円（前年同期比22.0%増）、セグメント利益（営業利益）は202,976千円（前年同期比29.4%増）となりました。

② ブライダル事業

売上高は1,798,148千円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益（営業利益）は53,679千円（前年同期比27.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、現金及び預金が176,799千円、売掛金が57,590千円、新規店舗のオープンに伴い有形固定資産合計が333,363千円増加したことなどにより、3,979,667千円（前事業年度比616,576千円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、買掛金が79,567千円、1年内返済予定の長期借入金が73,362千円、長期借入金が412,107千円増加したことなどにより、2,666,924千円（前事業年度比520,241千円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が121,480千円増加、その他有価証券評価差額金が24,773千円増加したものの、自己株式の取得により49,919千円減少したことなどにより、1,312,742千円（前事業年度比96,335千円の増加）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想については、前回発表の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	852,634	1,029,433
売掛金	112,824	170,414
原材料及び貯蔵品	28,789	38,338
その他	116,247	150,898
貸倒引当金	△378	△496
流動資産合計	1,110,118	1,388,589
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,829,512	2,230,926
減価償却累計額	△540,055	△631,791
建物(純額)	1,289,457	1,599,135
その他	594,891	682,491
減価償却累計額	△369,020	△432,934
その他(純額)	225,871	249,557
有形固定資産合計	1,515,328	1,848,692
無形固定資産	18,946	17,382
投資その他の資産		
敷金及び保証金	450,403	524,656
その他	266,173	199,185
投資その他の資産合計	716,576	723,842
固定資産合計	2,250,851	2,589,917
繰延資産	2,119	1,160
資産合計	3,363,090	3,979,667

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	174,196	253,764
1年内返済予定の長期借入金	463,662	537,024
未払法人税等	84,867	20,090
資産除去債務	—	3,112
未払金	350,833	360,798
その他	225,256	201,861
流動負債合計	1,298,816	1,376,651
固定負債		
長期借入金	563,182	975,289
資産除去債務	230,718	260,840
その他	53,966	54,143
固定負債合計	847,866	1,290,272
負債合計	2,146,682	2,666,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	366,172	366,172
資本剰余金	340,172	340,172
利益剰余金	534,836	656,317
自己株式	—	△49,919
株主資本合計	1,241,180	1,312,742
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△24,773	—
評価・換算差額等合計	△24,773	—
純資産合計	1,216,407	1,312,742
負債純資産合計	3,363,090	3,979,667

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	5,363,899	6,211,264
売上原価	1,769,136	2,054,520
売上総利益	3,594,762	4,156,743
販売費及び一般管理費	3,364,300	3,900,087
営業利益	230,461	256,655
営業外収益		
受取利息	4,130	354
受取手数料	790	808
保険差益	1,324	1,565
その他	2,291	1,151
営業外収益合計	8,537	3,880
営業外費用		
支払利息	6,240	4,826
投資有価証券償還損	—	35,418
その他	2,898	3,860
営業外費用合計	9,139	44,105
経常利益	229,859	216,430
特別損失		
固定資産売却損	43	—
減損損失	48,793	28,212
固定資産除却損	258	—
特別損失合計	49,095	28,212
税引前四半期純利益	180,763	188,218
法人税、住民税及び事業税	82,632	71,118
法人税等調整額	△18,854	△4,380
法人税等合計	63,777	66,737
四半期純利益	116,986	121,480

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年8月13日の取締役会決議に基づき、自己株式47,800株の取得を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が49,919千円増加しております。